

住みやすさにつなげるスポーツ

今回の集計で1票だったものが多くあり、その中でも「スポーツ施設が充実している」という理由から、「住みやすさ」という回答に着目します。安平町スポーツセンターは、町外のスポーツクラブなどがトレーニングに訪れる程の器具が充実。季節を問わず、充実した施設で体を動かせるだけでなく、子どもたちが挑戦したいスポーツに取り組む活動や高齢者を対象にした健康増進企画を考えている団体があります。

種目も世代も超えてみんなでスポーツを楽しむことを目指し活動しているアビースポーツクラブ・クラブマネージャーの鳥實裕弥さんに、実際にどのような活動をしているか、今後の展望について伺いました。



設立3年目となった今年の会員数は町民が154名、町外が48名、計202名です。北海道胆振東部地震が起きて、安平町のスポーツ少年団が団結して地域のスポーツクラブを盛り上げようと立ち上げたクラブです。

昨冬にスケート・フェスティバル（写真左）を開催しました。当初、交歓記録会が予定されていたが中止に。小学生が交歓記録会のために練習してきたことを無駄にたくないという思いから、大雪で天候が悪い中、1週間で準備し開催することができました。

これまでには、指導者派遣で社会福祉協議会の方から声をかけていただき、高齢者向けのウォーキングサッカーを『楽しむこと』を目的に行いました。非常に盛り上がったのでまたやりたいです。高齢者が安心して楽しめる活動として、千歳市の病院の専門の方と連携して町内で健康運動教室を行う予定です。

それらの経験を踏まえ、高齢者が安心して楽しめる活動として健康運動教室の企画や町内にはないスポーツを今後やっていき、「住みやすいまち」という要素の1つになっていけたら良いなと思います。



「北海道胆振東部地震」と安平町での思い出 さだまさしさん 特別インタビュー

NHK「今夜も生でさだまさし」の生放送が8月21日に道の駅あびらD51ステーションから行われ、放送前に取材をさせていただきました。

安平町には、ディーブインパクトやトウカイテイオーがいた牧場があったので何度か来たことがあります。北海道での仕事を終え、新千歳空港に向かう途中で立ち寄りました。

北海道胆振東部地震では安平町で震度6強を記録し、大変驚きましたね。震災発生から1週間後に札幌でコンサートがあったんですが、こんな時にコンサートをしていいのか、すごく悩みました。北海道に住む友人から「こういう時だからこそ、みんなを励ますためにコンサートをやってくれないか」と言われて来道することに。翌日、被災地に入ってボランティアスタッフや被災者の皆さんを励まそうと安平町にもやってきました。炊き出しを行っていたボランティアの方が「注いであげて」ということでお手伝いをさせてもらったのですが、皆さん「ありがとう！」と温かい声をたくさんかけてくださって。訪問時、何か書いてほしい…とダンボールにメッセージを書かせていただきました。



「今夜も生でさだまさし」の出演者である放送作家の井上さん（右）、音響の住吉さん（左）とD51 320号機の前で記念撮影！

安平町の皆さんは地震で大きな被害に遭われたにも関わらず、明るくて元気だったのでホッとしましたが、本当にご苦労なさっただろうなと思います。コロナ禍で大変な時ではありますが、これからもみんなが助け合いながら頑張っていたきたいです。

取材／地域おこし協力隊 木下知佳